

## 1 講座名・定員など

### (1) 授業科目

| 科目名             | 実施時期 | 曜日  | 時限 | 授業時間                                                                                            | 定員  |
|-----------------|------|-----|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 工業力学及び演習        | 後期   | 隔週水 | 1  | 1 時限 9:10～10:50<br>2 時限 11:00～12:40<br>3 時限 13:25～15:05<br>4 時限 15:15～16:55<br>5 時限 17:05～18:45 | 若干名 |
| 工学倫理            |      | 毎週水 | 2  |                                                                                                 |     |
| 環境の科学           |      | 木   | 3  |                                                                                                 |     |
| 生命の科学           |      | 木   | 3  |                                                                                                 |     |
| ネットワークコンピューティング |      | 金   | 2  |                                                                                                 |     |
| MATLAB プログラミング  |      | 木   | 1  |                                                                                                 |     |
| 会社法             |      | 水   | 4  |                                                                                                 |     |
| 言語心理学           |      | 火   | 2  |                                                                                                 |     |
| 知覚心理学           |      | 水   | 2  |                                                                                                 |     |
|                 |      | 月   | 3  |                                                                                                 |     |

※授業の曜日・時限等は変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

※各科目とも授業は14回の予定です。

※「工業力学及び演習」は2限続きの授業となっており、1限は隔週(月2回)、2限のみの週は演習授業の予定となっています。(全21回)

※授業は9月12日(金)から開始します。一部変則な取扱いがありますので注意してください。

### (2) 場所

埼玉工業大学 埼玉県深谷市普濟寺1690

JR 高崎線岡部駅下車 無料スクールバス乗車又は徒歩(15分)

各地区からの無料スクールバス案内

<http://www.sit.ac.jp/access/>

自家用車による通学可(駐車場無料)



## 2 受講料等

- (1) 受講料 1 科目（半期）につき 10,000 円。  
※受講科目決定後に、振込にて納入いただきます。  
※一旦納入された受講料は、お返しできませんのでご注意ください。
- (2) その他 教科書等の教材は自己負担でご用意いただきます。

## 3 受講の申込み

- (1) 申込期限 令和7年8月20日（水）必着
- (2) 申込先  
〒369-0293  
埼玉県深谷市普濟寺1690  
埼玉工業大学 教務課 リカレント係  
TEL：048-585-6813 FAX：048-585-5939  
E-mail：kyomu@sit.ac.jp
- (3) 申込方法  
はがき、FAX、E-mail のいずれかにより、以下の事項をもれなく  
記入の上、お申し込みください。  
①郵便番号・住所  
②氏名（フリガナ）  
③年齢（令和7年4月1日現在）・性別  
④電話番号  
⑤受講希望科目（何科目でも可）
- (4) 選抜方法  
定員を超える申込みがあった場合は、先着順により受講者を決定します。  
受講の可否、受講決定科目は申込者全員にお知らせします。
- (5) その他  
授業は原則として対面で実施します。

#### 4 各授業科目の概要及び担当教員

| No | 科目名 (担当教員)                                      | 概要                                                                                                                                                                                                           |
|----|-------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 工業力学及び演習<br>(政木 清孝 教授)                          | 工業力学は機械工学科で学ぶ4大力学(材料力学、流体力学、熱力学、機械力学)の基礎として最も重要な科目として位置づけられている。<br>様々な実問題を、単純な力のつり合いや運動に関する問題に置き換えて解くことを目的とし、力や運動の扱い方、つりあう力の解析方法、力の作用のもとで起こる運動の記述方法、そして物体に力が作用するときの運動について講義する。                               |
| 2  | 工学倫理<br>(河田 直樹 教授)                              | 工学とは科学を産業に応用する学問であり、社会実装を目標にしている。社会実装にはコストがかかり、企業ではその対価として利益がもとめられる。その利益を追求するあまり、安全や環境、その他のルールが損なわれることがあり、倫理観が重要となる。本講義では、工学に関する倫理観について、主に日本国内で生じたいくつかの事例を取り上げ、特に安全と環境に関する視点に重きをおいて問題点と解決方法について考えながら学ぶ。      |
| 3  | 環境の科学<br>(有谷 博文 教授)                             | いわゆる「環境問題」の基本と考え方、取り組み方などを、専門分野も交えつつ解説します。身近な「環境」の問題(汚染問題、省エネルギー、自然エネルギー利用、リサイクルなど)、および国際的な「地球環境」の問題(温暖化ガス抑制、資源枯渇、食糧問題など)に分けて様々なトピックスを交えて講義します。それらはみな生活と直接結びついていることから、いかにして環境諸問題を解釈し、生活の中でどのように役立てられるかを考えます。 |
| 4  | 生命の科学<br>(石川 正英 教授<br>秋田 祐介 准教授<br>坂井 隆浩 非常勤講師) | 生命科学は、生物の持つ特質に関する研究成果を統合するとともに、その意義を考えヒトとのかかわりを理解するための学問分野である。本講義は、生命科学の先端研究や技術を、幅広く「トピックステーマ」として紹介する。                                                                                                       |

|   |                                    |                                                                                                                                            |
|---|------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5 | ネットワーク<br>コンピューティング<br>(前田 太陽 准教授) | ネットワークは個々の要素技術が複合された総合的なシステムであり、ネットワークを設計するためには全体をまとめ上げる技術や知識が必要とされます。ネットワーク設計に必要な技術知識、設計技法、関連技術について概説します。                                 |
| 6 | MATLAB プログラミング<br>(高橋 俊典 准教授)      | 数値解析の面倒な作業を助けてくれるソフトウェア MATLAB の使い方について勉強します。<br>数学、数値計算、プログラミングなどについての予備知識や経験は不要です。<br>自分自身ですべての操作を実際に行きながら、便利になったプログラミング環境を体験学習します。      |
| 7 | 会社法<br>(李 艶紅 准教授)                  | 企業社会を支える基盤となるのが「会社」であり、それを規制するのが「会社法」です。会社法は、会社の設立、組織、運営・管理などを規律する基本法です。本講座では事例・裁判例を多用して、具体的な場面のなかで、会社法の制度の目的や趣旨を理解できるよう、会社法を基礎から丁寧に解説します。 |
| 8 | 言語心理学<br>(学習・言語心理学Ⅱ)<br>(河原 哲雄 教授) | 認知科学の主要な研究領域の一つである、人間の言語とそのモデル化について、基本的な研究方法と研究成果を学ぶ。言語心理学・認知心理学と、その隣接科学における実験的研究を中心に概観するが、生成文法理論や認知言語学といった言語学理論や、工学的な自然言語処理モデルにも触れる。      |
| 9 | 知覚心理学<br>(知覚・認知心理学Ⅰ)<br>(大塚 聡子 教授) | 知覚とは、感覚受容器を通して外界や自己の状態を知るはたらきである。知覚に心理学的な側面があることは、錯視や錯覚といった現象があることに示される。この授業では5感（視・聴・味・嗅・体性感覚）と時間感覚について、基盤となる脳神経系のしくみに言及しつつ心理学の立場から解説する。   |